

2018年12月27日

春日部市長
石川 良三様

新たな指定先による運営に対する要望書

春日部市放課後児童クラブ父母会連絡会
代表 國井初江（緑放課後児童クラブ）
学童保育の歴史と未来を守る市民の会
代表 奥村 実

貴職におかれましては益々ご活躍のことと存じ上げます。また、春日部市の放課後児童クラブ運営にあたりましては日頃よりご高配を賜り、心よりお礼申し上げます。

12月議会に於いて、平成31年度からの放課後児童クラブ運営を任せる指定先が決定しました。福祉公社から社会福祉協議会へと、20年間受け継がれてきた「非営利団体による運営」が終了し、新たに民間企業による運営がスタートする事に対し、私たち父母は大きな不安を抱いております。

これまで子どもたちの生活を支えてきた指導員たちが、新年度から一気に変わってしまう可能性や、営利追求のためのコストダウンにより、非常勤を含めた指導員の配置数削減や待遇の悪化など、子どもたちの生活に悪影響を及ぼす数多くの懸念があります。

私ども春日部市放課後児童クラブ父母会連絡会（以下、連絡会）では、指導員組合や市民団体と協力して「子ども達の成長、父母の働く権利、指導員の雇用を守る要望署名」を集め、これまでに2万3496筆の署名を集め、市に訴えてきましたが、今回の議会での議決により、私たちの願いは叶えられませんでした。

正式に新指定先への引継ぎが開始されるにあたり、私たち父母が心から望む質の高い保育を実現させるため、あらためて下記の通り要望いたします。

1. 新指定先に対し、希望する全ての指導員の再雇用と待遇の維持を要請してください。
待遇の内容と水準は、現在を下回ることはないよう（給与、月給制、一時金、退職金、福利厚生等）に要請してください。
2. 常勤のみならず、非常勤も含めた指導員配置を、現状の人数を踏まえて実現するよう要請してください。
3. 保育サービスの内容について、現在の水準を後退させないよう、父母と現指導員の意見を反映させる場を設けることを要請してください。
4. 4月からのスタートに当たっては、配置される予定の指導員を1月から当該クラブに派遣するなど、丁寧な引き継ぎを行うよう要請してください。

以上